

二期目の就任に 当たり



理事長 和久井 工

7月8日に理事会、7月26日に組合会を開催し、平成30年度の事業報告・歳入歳出決算及び令和元年度の補正予算等の審議事項を全員一致で承認可決して頂きました。

また、7月26日に新たな理事による理事会を開催し、理事長及び役員を選任し、理事長に選任され二期目となりますが、どうか任期まで宜しくお願い致します。あわせて、その理事会におきまして関東信越税理士会62支部の支部国保長皆様の指名と報告がなされ、当国保組合の事業にご協力・ご支援も宜しくお願い申し上げます。

健康診断の勧め

人生は航海に例えられ、船であれば安全な航海のために定期的に、ドックに入り点検や修繕を行う。人間とても同様であり「健診と予防」が大事であります。勤めておれば勤務先での定期健診、40歳からは特定健診がありますが、人間ドックは検査項目がより充実しております。がんの早期発見など一般的な人間ドックは50項目を超えるとも言われ、人間ドックも多様化しており最適なドックを数年に一度は受診をし、補助金を有効に利用し活用を図り、現在の自分の身体状態を「見える化」し体調の点検に役立てて下さい。当国保組合も1万円以上の健診については人間ドック補助金、40歳未満で1万円未満の健診には定期健康診断補助金等をご利用して頂き、健康管理に役立てるよう、予防、健診に対する発信を一層促進していきます。

事業・加入の勧め

事業も限られた財源に基づいて実施されますが、税理士である同種同業の国保組合である事で、その事業に適した保健事業の提案を出して頂くなり又検討を行った中、この9月より埼玉県のコバトン健康マイレージの健康づくり事業に参画しました。また、魅力ある組織とすべく仲間を増やす事にも力を尽くしていきます。特に税理士法人が増加する中、法人設立前に国保組合加入を検討出来るよう税理士会及び関連団体と協調連携を図り、入会情報等を早め早めに提供をしていきたいと思っております。

医療保険制度の勧め

手続面で厚生労働省は、保険医療機関等で療養給付を受ける場合の被保険者資格の確認について、普及率が約13%と低迷しているマイナンバーカードに保険証機能を付け、普及拡大を目指すオンライン資格確認の導入を令和3年3月に本格運用の開始に向け取組んでおり、当組合もその準備も進めていきます。

また、「骨太の方針2019」において、2040年には男女とも75歳に健康寿命を延伸する方針を掲げ、当組合もデータヘルス計画を推進し、重症化対策にも取組んでいきたいと考えています。

組合の運営にあたり問題が山積している現状です。責任の重さを痛感するとともに、役員一丸となって対処し、皆様のご協力を頂き健全運営に努めてまいりますのでご指導ご鞭撻をお願いし、二期目の挨拶と致します。